

島根原子力発電所 2号炉 審査資料	
資料番号	EP-015改58(回4)
提出年月日	令和2年8月21日

令和2年8月
中国電力株式会社

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
1	平成25年11月5日	起因事象の抽出に漏れがないことを説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合 資料1-2 確率論的リスク評価（P R A）について」 本文1.1.1.b①(1) 参照
2	平成25年11月5日	設置許可におけるP R Aの評価対象設備の考え方を整理すること。	H26.2.6. 「EP-003_確率論的リスク評価（P R A）について」本文3.1.1.a①(1) 参照
3	平成25年11月5日	資料中のI S L O C Aの定義について考え方を説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」本文1.1.1.b④(4)d 参照
4	平成25年11月5日	資料中のS R弁の開固着の定義について考え方を説明すること。	H27.5.26. 「EP-003_改07_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙1.1.1 -9 参照
5	平成25年11月5日	これまでの運転実績を踏まえたプラントの特徴をP R Aに反映していることを説明すること。	H26.7.16. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」本文 1.1.1.h ③(3)b 参照
6	平成25年11月5日	ヒューマンエラーの考え方について説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」本文1.1.1.g 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
7	平成25年11月7日	通常停止そのものを起因事象とすることの妥当性について説明すること。また、通常起動の取り扱いについても説明すること。	H26.2.24. 「EP-003(補)_確率論的リスク評価（P R A）について 補足説明資料」 3. 参照
8	平成25年11月8日	成功基準を定めるに当たっての保守性の考え方について説明すること。	H26.3.25. 「EP-003(補)改02_確率論的リスク評価（P R A）について 補足説明資料」 15. 参照
9	平成25年11月12日	分岐確率について詳細を説明すること。	H27.5.26. 「EP-003_改07_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙2.1.1-6 参照
10	平成25年11月12日	抽出した格納容器破損モードに漏れが無いこと、水素燃焼とシェルアタックを検討の対象外とすることの考え方について整理の上、説明すること。	H26.7.16. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」本文 2.1.1.c①, 別紙2.1.1.-2 参照
11	平成25年11月19日	従来の過渡事故解析に相当するシーケンスをイベントツリーの中に整理した上で説明すること。	H27.5.26. 「EP-003_改07_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙1.1.1-14 参照
12	平成25年11月19日	イベントツリーにおける機能喪失した既存設備の復旧の考え方について整理した上で説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
13	平成26年1月30日	P R Aの評価対象となる時点のプラント状態及びその妥当性について整理した上で説明すること。	H26.2.6. 「EP-003_確率論的リスク評価（P R A）について」本文3.1.1.a①(1) 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
14	平成26年1月30日	起因事象の網羅性について説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合 資料1-2 確率論的リスク評価（P R A）について」 本文1.1.1.b①(1) 参照
15	平成26年1月30日	解析コードの適用について詳細を説明すること。	H27.6.9. 「第236回審査会合 資料1-2[MAAP]」 参照
16	平成26年1月30日	P R Aにおいてプラント固有の特徴がどの様に反映されているのか説明すること。	H26.7.16. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」 本文 1.1.1.h③(3)b 参照
17	平成26年2月3日	前提としている定検工程の代表性や選定の考え方についてP O S設定の考え方を含めて説明すること。	H26.3.14. 「EP-003_改02_確率論的リスク評価（P R A）について」 本文 3.1.2.a② 参照
18	平成26年2月3日	成功基準の選定の考え方を説明すること。	H26.3.14. 「EP-003_改02_確率論的リスク評価（P R A）について」 本文 3.1.2.c① 参照
19	平成26年2月3日	停止時P R Aの評価対象期間の考え方を説明すること。	H26.3.14. 「EP-003_改02_確率論的リスク評価（P R A）について」 本文 3.1.2.a②(1) 参照
20	平成26年2月3日	起因事象から制御棒引抜事象を除外している理由を説明すること。	H26.7.16. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」 本文 1.1.2.b①(2)d 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
21	平成26年2月3日	P R A 評価の中で期待する設備・運用の考え方を説明すること。	H26.3.14. 「EP-003_改02_確率論的リスク評価（P R A）について」本文 3.1.2.a①, 第3.1.2-1表 参照
22	平成26年2月3日	I V R において実験体系で得られたデータが実機に適用できるのか説明すること。	対象外 (他プラントへの指摘事項)
23	平成26年2月3日	F C I の知見について別途説明すること。	H26.7.16. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙2.1.1- 5 参照
24	平成26年2月3日	シーケンス選定において、1 F 事故を踏まえた最新の知見等が反映されていることを説明すること。	H27.6.30. 「第244回審査会合資料3-4-1」85ページ 参照
25	平成26年2月6日	I S L O C A の起因事象発生頻度の海外との差について整理して説明すること。	H27.6.30. 「第244回審査会合資料3-4-1」19ページ 参照
26	平成26年2月6日	起因事象の発生頻度評価に用いるデータベースが適用可能な最新版のものであるか、各プラントの故障率等に特異性がないかの確認を含めて整理して説明すること。	H26.7.16. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」本文 1.1.1.b①(4), 本文1.1.1.f②, 1.1.1.h③b, 第1.1.1-8表 参照
27	平成26年2月6日	運転時 P R A で通常停止を起因事象として取り扱う考え方について整理して説明すること	H26.2.24. 「EP-003(補)_確率論的リスク評価（P R A）について 補足説明資料」 3. 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：PRA）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
28	平成26年2月6日	起因事象から除外している事象について、除外理由を整理して説明すること。	H26.3.25. 「EP-003(補)改02_確率論的リスク評価（PRA）について 補足説明資料」 11. 参照
29	平成26年2月6日	I S L O C A時の内部リークの機器故障確率を通常の1 / 1 0としている考え方を整理して説明すること。	H26.2.24. 「EP-003(補)_確率論的リスク評価（PRA）について 補足説明資料」 2. 参照
30	平成26年2月6日	E C C Sの配管破断の考え方について整理して説明すること。	H26.7.16. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（PRA）について」 別紙1.1.1-4 参照
31	平成26年2月6日	対処設備作動までの余裕時間の考え方を整理して説明すること。	H26.3.25. 「EP-003(補)改02_確率論的リスク評価（PRA）について 補足説明資料」 14. 参照
32	平成26年2月6日	使命時間について詳細に説明すること。	H26.2.24. 「EP-003(補)_確率論的リスク評価（PRA）について 補足説明資料」 4. 参照
33	平成26年2月6日	成功基準の設定時の解析結果を例示すること。	H26.3.25. 「EP-003(補)改02_確率論的リスク評価（PRA）について 補足説明資料」 13. 参照
34	平成26年2月6日	炉心損傷の定義に関して、ガイドに示された燃料被覆管の酸化量の考え方について説明すること。	H26.3.25. 「EP-003(補)改02_確率論的リスク評価（PRA）について 補足説明資料」 13. 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
35	平成26年2月6日	R C I Cが8時間利用可能とする妥当性を説明すること。	H26.7.15. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙2.1.1-3 参照
36	平成26年2月14日	イベントツリーをまとめる際の考え方を補足すること。	H26.7.15. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」本文1.1.1d ① 参照
37	平成26年2月14日	イベントツリーのヘッダーは省略しないで記載すること。	H26.7.15. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙1.1.1-11 参照
38	平成26年2月14日	事故シーケンスの最終状態の分類の考え方を説明すること。	H26.7.15. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」本文1.1.1d ①, 別紙1.1.1-11 参照
39	平成26年2月14日	プラント状態の影響度という観点での分類の考え方を補足すること。	H26.7.15. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」本文1.1.1d ①, 別紙1.1.1-11 参照
40	平成26年2月14日	サポート系が一部故障している場合の評価を説明すること。	H26.7.15. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙1.1.1-13 参照
41	平成26年2月14日	S L Cに期待する場合、S L C失敗確率の詳細を説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：PRA）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
42	平成26年2月14日	外電復旧を期待する場合の外電復旧の考え方について説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
43	平成26年2月14日	外電復旧の失敗確率の評価に引用されていない1987年以降の外電復旧の失敗の事例がないか確認すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
44	平成26年2月14日	システム信頼性の評価において、文献からのデータ引用の考え方を説明すること。	H26.7.15. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（PRA）について」別紙1.1.1-20 参照
45	平成26年2月14日	SA対策後のPRAを可能であれば参考までに説明すること。	R2.3.5 「EP-015改51_島根原子力発電所2号炉 重大事故等対策の有効性評価」確率論的リスク評価（PRA）について 補足説明資料1.1.1.h-6 参照
46	平成26年2月14日	故障確率データがない機器に対し、他の機器の故障確率データを代用する場合はその妥当性を説明すること。	H26.3.25. 「EP-003(補)改02_確率論的リスク評価（PRA）について 補足説明資料」16. 参照
47	平成26年2月14日	LOCAの発生頻度に関するNUREGデータはPWRとBWRで異なるので考え方を説明してほしい。	H26.3.25. 「EP-003(補)改02_確率論的リスク評価（PRA）について 補足説明資料」12. 参照
48	平成26年2月14日	余裕時間など成功基準の保守性とその考え方を説明すること。	H26.3.25. 「EP-003(補)改02_確率論的リスク評価（PRA）について 補足説明資料」15. 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
49	平成26年2月14日	S L Cについて、すべての温度条件で停止余裕を確保できることを確認すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
50	平成26年2月14日	スクラム成功とみなす C Rの本数を資料に記載すること。	H26.7.15. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」本文 1.1.1.e④ 参照
51	平成26年2月17日	共通要因故障を考慮している多重性を有する機器について、メーカーが異なる場合の考え方を説明すること。	H26.3.4. 「EP-003(補)改1_確率論的リスク評価（P R A）について 補足説明資料」 5. 参照
52	平成26年2月17日	人的過誤を考慮する評価項目について、過誤確率や余裕時間等を含めて網羅的に整理し、結果を説明すること。	H26.3.4. 「EP-003(補)改1_確率論的リスク評価（P R A）について 補足説明資料」 6. 参照
53	平成26年2月17日	保守頻度の設定について、実績との比較を整理して説明すること。	H26.3.4. 「EP-003(補)改1_確率論的リスク評価（P R A）について 補足説明資料」 8. 参照
54	平成26年2月17日	人的過誤の評価において、ストレスレベルごとの適用の考え方について説明すること。	H26.3.4. 「EP-003(補)改1_確率論的リスク評価（P R A）について 補足説明資料」 7. 参照
55	平成26年2月17日	故障モード毎の共通要因故障の評価に使用するパラメータについて説明すること。	H26.7.15. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙1.1.1-18, 別紙1.1.1-19 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
56	平成26年2月17日	不確かさ評価における各入力変数のサンプリングから炉心損傷頻度の確率分布を生成するプロセスについて、炉心損傷モードの一つを代表例として説明すること。	H26.7.15. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙1.1.1-25 参照
57	平成26年2月17日	P R A評価に使用したコードの検証結果について説明すること。	H26.3.4. 「EP-003(補)改1_確率論的リスク評価（P R A）について 補足説明資料」9. 参照
58	平成26年2月17日	起因事象別及び事故シーケンスグループ別の各分類におけるドミナントシーケンスについて、数値を含むイベントツリーを用いて説明すること。	H26.3.4. 「EP-003(補)改1_確率論的リスク評価（P R A）について 補足説明資料」10. 参照
59	平成26年2月21日	起因事象発生前の人的過誤について、評価対象の抽出過程を説明すること。	H26.7.17. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙1.1.1-21 参照
60	平成26年2月21日	共通原因故障因子を起動失敗と運転継続失敗で同じ値を用いることの妥当性を説明すること。	H26.7.15. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙1.1.1-19 参照
61	平成26年2月21日	感度解析を必要ないと判断した理由を説明すること。	H26.7.16. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」本文1.1.1.h③(3) 参照
62	平成26年2月21日	Safety Watherの方がRisk Spectrumよりエラーバーの幅が狭くなっている理由を説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：PRA）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
63	平成26年2月24日	I S L O C Aの起因事象発生頻度の海外との差について、想定する発生シナリオ等の前提も含めて確認し説明すること。	H26.7.15. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（PRA）について」別紙1.1.1-6 参照
64	平成26年2月24日	停止中等の期間を通常運転時PRAに含めている理由を詳細に説明すること。	H26.3.18. 「EP-003(補)改02_確率論的リスク評価（PRA）について 補足説明資料」3. 参照
65	平成26年2月24日	フロントライン系とサポート系の依存性の表について、FT上のand,orの関係性が分かるように整理して掲載すること。	H26.7.15. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（PRA）について」第1.1.1-10表 参照
66	平成26年2月26日	プラント損傷状態で、S2EとTBPを低圧・高圧シーケンスに分類する根拠を説明すること。	H26.5.26. 「EP-003_改07_確率論的リスク評価（PRA）について」別紙2.1.1-1 参照
67	平成26年2月26日	プラント損傷状態の分類において、TQUVとLOCAを分けて評価することを説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
68	平成26年2月26日	炉心損傷時期を分類する基準を説明すること。	H26.7.17. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（PRA）について」本文2.1.1.b①(1)c 参照
69	平成26年2月26日	格納容器破損モードに影響を及ぼすプラント特性について詳細に説明すること。	H26.7.17. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（PRA）について」本文2.1.1.c① 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
70	平成26年2月26日	格納容器破損モードを網羅的に示し、評価から除外したものについて、その理由をプラント特性を踏まえて説明すること。	H26.7.16. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」本文 2.1.1.c① 参照
71	平成26年2月26日	原子炉容器内でのF C I（水蒸気爆発）を除外する理由について、制御棒駆動機構とトリガリングとの関係を分かりやすく説明すること。	H26.7.17. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙2.1.1-1 参照
72	平成26年2月26日	R C C Vの構造図（コンクリートとライナの関係がわかるもの）を示すこと。	対象外 （他プラントへの個別指摘事項）
73	平成26年2月26日	ヘディング従属性を詳細に説明すること。	H26.7.17. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」第2.1.1-13 参照
74	平成26年3月4日	事故シーケンスの推移の詳細を説明すること。	H26.7.16. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」第2.1.1-6図 参照
75	平成26年3月4日	P C V隔離の分岐確率の妥当性を示すこと。	H26.7.16. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙2.1.1-4 参照
76	平成26年3月4日	D C Hによる破損確率の図についてlogに修正すること。	対象外 （他プラントへの個別指摘事項）

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：PRA）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
77	平成26年3月4日	格納容器破損モードにおける物理化学現象の詳細について説明すること。	H26.7.16. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（PRA）について」別紙2.1.1-5 参照
78	平成26年3月4日	待機除外を考慮する系統の構成機器の考え方について説明すること。	H26.3.18. 「EP-003(補)改02_確率論的リスク評価（PRA）について 補足説明資料」 8. 参照
79	平成26年3月4日	試験による待機除外を評価対象外とする理由を説明すること。	H26.7.17. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（PRA）について」本文 1.1.1.f④(1) 参照
80	平成26年3月4日	時間信頼性評価において、長期の余裕時間の扱いの説明すること。	H26.3.4. 「EP-003(補)改01_確率論的リスク評価（PRA）について 補足説明資料」 6. 参照
81	平成26年3月4日	各系統間の従属性の注釈の対象について確認すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
82	平成26年3月4日	不確かさ解析における、事故シーケンス毎のエラーファクターを提示すること。	H26.2.17. 「EP-003_確率論的リスク評価（PRA）について」第3.1.1-23表 参照
83	平成26年3月4日	Fussell-Vesely(FV)重要度とRisk-Achivement Worth (RAW)重要度の分析結果をグラフにまとめ、安全機能の現状リスクと機能喪失時のリスク増分について考察し、有効性評価のシーケンス選定やSA設備の導入にどの様に反映されているか説明すること。	H26.7.17. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（PRA）について」本文 1.1.1.h③(1), 第1.1.1-18図, 第1.1.1-19図 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
84	平成26年3月4日	共通要因故障パラメータを適用している系統について示すこと。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
85	平成26年3月4日	S R 弁の開固着を想定する台数及びその妥当性について説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
86	平成26年3月4日	E C C S 系破断による L O C A の場合もあるが、破断システムを含めて確率評価を行う妥当性について説明すること。	H26.7.16. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙1.1.1-4 参照
87	平成26年3月4日	2 0 0 2 年以降の機器故障率のデータ、他の産業界の機器故障率のデータの有無について確認すること。	H26.7.16. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙1.1.1-14 参照
88	平成26年3月4日	事故後のストレスファクターの設定値等が全体の炉心損傷確率に与える影響について、感度解析等により示すこと。	H26.7.17. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」本文1.1.1.h③(3)c 参照
89	平成26年3月10日	評価対象とする代表定検工程について、工程及び各プラント 状態の代表性を詳細に説明すること。	H26.7.16. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙1.1.2-1 参照
90	平成26年3月10日	R H R の運転中の機能喪失を起因事象から除外する考え方を示すこと。	H26.7.16. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙1.1.2-4 参照

島根原子力発電所 2 号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
91	平成26年3月10日	部分燃料取り出し又は全燃料取り出しを代表工程としたことの妥当性を説明すること。	H26.7.16. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙1.1.2-1 参照
92	平成26年3月14日	F P C, C U Wによる除熱機能に期待する場合、その機能喪失を起因事象（崩壊熱除去機能喪失）として考慮しているかについて説明すること。	H26.7.17. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙1.1.2-5 参照
93	平成26年3月14日	停止時のL O C Aの発生頻度算出のモデル化及び仮定条件について詳細に説明すること。	H26.7.16. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙1.1.2-4 参照
94	平成26年3月14日	定検工程及びプラント状態の代表性の説明の際に、期待する影響緩和設備について、タイライン等による他系統からのサポート系の融通の有無についても説明すること	H26.7.16. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙1.1.2-2 参照
95	平成26年3月14日	ポンプ室空調等についてモデル化しているか明記すること。	H26.7.17. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」本文1.1.2.e② 参照
96	平成26年3月14日	L O C Aにおける余裕時間について、出力運転時のP R Aとの比較を含め、考え方を説明すること。	H26.7.16. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙1.1.2-9 参照
97	平成26年3月14日	燃料プールに燃料を移している間の炉心損傷条件を明確にすること。	H26.7.16. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙1.1.2-8 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：PRA）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
98	平成26年3月14日	消火系によるプール給水機能に期待する場合、燃料プールの水位状態による現場作業への影響について説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
99	平成26年3月14日	MOX燃料の場合を考慮した崩壊熱の評価について考え方を説明すること。	H26.7.17. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（PRA）について」別紙1.1.2-7 参照
100	平成26年3月14日	崩壊熱に対するFPC. CUWの除熱性能について示すこと。	H26.7.17. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（PRA）について」別紙1.1.2-7 参照
101	平成26年3月14日	停止時のストレスレベル設定の考え方について、出力運転時のPRAとの比較を含め、考え方を説明すること。	H26.7.16. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（PRA）について」別紙1.1.2-10 参照
102	平成26年3月14日	損傷機器の復旧について感度解析要否を検討すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
103	平成26年3月14日	プラント状態（POS）別に1日当たりの炉心損傷頻度を示し、工程上の時間軸で図示すること。	H26.7.17. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（PRA）について」第1.1.2-14図 参照
104	平成26年3月14日	サプレッションプール水温度が上昇した場合、キャビテーションを考慮したHPCSの機能維持について、イベントツリー上の扱いを説明すること。	H26.7.16. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（PRA）について」別紙1.1.1-12 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
105	平成26年3月18日	津波 P R Aにおける漂流物の取り扱いについて詳細に説明すること。	H26.9.30. 「第142回審査会合資料3-2」別紙1.2.2-2 参照
106	平成26年3月18日	事故シナリオの分析において引き波を除外する考え方を説明すること。	H26.9.30. 「第142回審査会合資料3-2」別紙1.2.2-4 参照
107	平成26年3月18日	評価における津波対策設備（防潮堤等）の取り扱いについて整理すること。	H26.9.30. 「第142回審査会合資料3-2」本文1.2.2.a ①(3),第1.2.2-2表参照
108	平成26年3月18日	津波時の水密扉の開閉に関する人的過誤の考え方について運用を含めて整理すること。	H26.9.26. 「EP-003_改06_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙1.2.2-10 参照
109	平成26年3月18日	起因事象としている直接炉心損傷に至る事象について明確に事象を説明すること。	H26.9.30. 「第142回審査会合資料3-2」別紙1.2.2-9 参照
110	平成26年3月18日	事故シーケンスのグループ化の考え方及びプロセスについて説明すること。	H26.9.26. 「EP-003_改06_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙1.2.2-9 参照
111	平成26年3月18日	引き波時を含む取水の継続性について説明すること。	H26.9.30. 「第142回審査会合資料3-2」別紙1.2.2-4 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
112	平成26年3月18日	津波発生時における原子炉停止の手順について説明すること。	H26.9.30. 「第142回審査会合資料3-2」別紙1.2.2-5 参照
113	平成26年3月18日	津波による建屋への浸水経路について説明すること。	H26.9.30. 「第142回審査会合資料3-2」別紙1.2.2-7 参照
114	平成26年3月18日	防潮堤の耐力及び防潮堤を越える津波による浸水評価について説明すること。	H26.9.22. 「EP-003_改06_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙1.2.2-8 参照
115	平成26年3月18日	レベル1 P R Aにおいて、保守作業による各社の待機除外確率の各社の違いについて代表例を用いて示すこと。	H26.7.16. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙1.1.1-16 参照
116	平成26年3月25日	P L R 1 台トリップについて、手動停止する場合は起因事象として手動停止に含むことを注記。	H26.7.15. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」本文1.1.1.b①(2)a 参照
117	平成26年3月25日	主蒸気管破断の分類の考え方について説明すること。	H26.7.15. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」本文1.1.1.b①(2)e 参照
118	平成26年3月25日	R P V 破損確率の考え方を説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
119	平成26年3月25日	外電喪失の発生確率としてBWRでの発生事例のみを考慮している理由を説明すること。	H26.7.17. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙1.1.1-2 参照
120	平成26年3月25日	全給水喪失の成功基準の解析について、30分後に減圧を開始していることについて説明すること。	H26.7.17. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙1.1.1-8 参照
121	平成26年3月25日	故障率を代用するデータの選定の考え方について説明すること。	H26.7.16. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙1.1.1-14 参照
122	平成26年3月25日	故障率を代用する機器との構造の類似性について、想定される故障モードを踏まえて詳細に説明すること。	H26.7.16. 「EP-003_改04_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙1.1.1-14 参照
123	平成26年8月7日	計器校正エラーがJANSI故障率データベースに含まれているか説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
124	平成26年8月7日	停止時レベル1のイベントツリーにおける長期診断の考え方を説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
125	平成26年8月7日	弁の手動操作における人的過誤のモデル化について説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
126	平成26年8月7日	F T 展開の考え方を説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
127	平成26年8月7日	TW、T B WシーケンスにおけるH P C Sの水源の考え方を説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
128	平成26年8月7日	システム内のC C Fの考え方を説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
129	平成26年8月7日	ポンプ室空調などF Tモデル化されていないものについて詳細に説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
130	平成26年8月7日	逆止弁の内部リークの取り扱いについて説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
131	平成26年9月8日	イベントツリー及びフォールトツリーの作成における基本的考え方及び採用した仮定について説明すること。	「島根原子力発電所 2号炉確率論的リスク評価（P R A）について 補足説明資料」 補足説明資料1.1.1.f-3 参照
132	平成26年9月8日	フォールトツリーに関しては、システムのバウンダリの設定を含めて説明すること。	H27.4.24. 「EP-011改01_確率論的リスク評価（P R A）におけるイベントツリー及びフォールトツリーについて」 12ページ 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：PRA）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
133	平成26年9月8日	高圧炉心スプレイ系の水源及び水源切替操作について詳細に説明すること。	「島根原子力発電所 2号炉確率論的リスク評価（PRA）について 補足説明資料」 補足説明資料1.1.1.a-1 参照
134	平成26年9月8日	フォールトツリーで設定している制御故障及び信号故障について詳細に説明すること。	「島根原子力発電所 2号炉確率論的リスク評価（PRA）について」 第1.1.1.e-3表 参照
135	平成26年9月8日	共通要因故障を考慮する対象機器の選定について詳細に説明すること。	「島根原子力発電所 2号炉確率論的リスク評価（PRA）について 補足説明資料」 補足説明資料1.1.1.f-5 参照
136	平成26年9月8日	手動操作などの条件については、保安規定等に規定された運転範囲内であることを説明すること。	H27.4.24. 「EP-011改01_確率論的リスク評価（PRA）におけるイベントツリー及びフォールトツリーについて」 5ページ 参照
137	平成26年9月8日	ポンプ空調室のモデル化について詳細に説明すること。	H27.4.24. 「EP-011改01_確率論的リスク評価（PRA）におけるイベントツリー及びフォールトツリーについて」 4ページ 参照
138	平成26年9月8日	起因事象発生前の人的過誤を考慮する対象について説明すること。	H27.4.24. 「EP-011(補)_確率論的リスク評価（PRA）におけるイベントツリー及びフォールトツリーについて 補足説明資料」 2 参照
139	平成26年9月8日	系統毎に考慮されているサポート系の故障、機器故障及び人的過誤について整理すること。	H27.4.24. 「EP-011改01_確率論的リスク評価（PRA）におけるイベントツリー及びフォールトツリーについて」 5ページ 参照

島根原子力発電所 2 号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
140	平成26年9月8日	同時メンテナンスの考慮について説明すること。	H27.4.24. 「EP-011(補)_確率論的リスク評価（P R A）におけるイベントツリー及び フォールトツリーについて 補足説明資料」 3 参照
141	平成26年9月8日	イベントツリーで C D F を計算する際、複数の系統で共通に使用するサポ ート系 F T の特性をどのように扱うか説明すること。	H27.4.24. 「EP-011(補)_確率論的リスク評価（P R A）におけるイベントツリー及び フォールトツリーについて 補足説明資料」 4 参照
142	平成26年9月8日	モデル化していないサポート系について妥当性を説明すること。	「島根原子力発電所 2 号炉確率論的リスク評価（P R A）について」 1.1.1.e 参照 (今回の P R A では、M S I V 開操作による給復水系を期待していない ため、I A 系はモデル化していません。)
143	平成26年9月19日	プラント情報の収集について、参照した情報源（文献名）を明確にするこ と。	「島根原子力発電所 2 号炉確率論的リスク評価（P R A）について」 第1.2.1.a-1表 参照
144	平成26年9月19日	事故シナリオの抽出において、余震の影響を除外とする理由を説明すること。	「島根原子力発電所 2 号炉確率論的リスク評価（P R A）について」 第1.2.1.a-2表 参照
145	平成26年9月19日	ヒューマンファクターのストレスレベル等での考慮について、記載を追加するこ と。	「島根原子力発電所 2 号炉確率論的リスク評価（P R A）について」 本文1.2.1.d⑤, 第1.2.1.d-3表 参照
146	平成26年9月19日	天井クレーンのブレーキ損傷や排気管ダクトの亀裂等、これまでに確認された 事象の評価について、説明すること。	「島根原子力発電所 2 号炉確率論的リスク評価（P R A）について」 第1.2.1.a-2表 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
147	平成26年9月19日	プラントワークダウンの記録例について、エリアと対象機器の関係を明確にすること。	「島根原子力発電所 2号炉確率論的リスク評価（P R A）について」第1.2.1.a-2図 参照
148	平成26年9月19日	「地震ハザード評価」との用語について、「確率論的地震ハザード評価」とすること。	「島根原子力発電所 2号炉確率論的リスク評価（P R A）について」本文1.2.1.b 参照
149	平成26年9月19日	プラントワークダウンの対象とする機器等の選定方法について、詳細に説明すること。	「島根原子力発電所 2号炉確率論的リスク評価（P R A）について」第1.2.1.a-1図 参照
150	平成26年9月19日	プラントワークダウンにおける点検項目の設定方法について説明すること。	「島根原子力発電所 2号炉確率論的リスク評価（P R A）について」補足説明資料1.2.1.a-1 参照
151	平成26年9月19日	二次部材損傷による操作員等への影響について説明すること。	「島根原子力発電所 2号炉確率論的リスク評価（P R A）について」第1.2.1.a-2表 参照
152	平成26年9月19日	過去のプラントワークダウンの記録を参照する場合には、現状との相違がないことを確認すること。	対象外 （他プラントへの個別指摘事項）
153	平成26年9月19日	ロジックツリーにおける地震規模の算出について、松田式のみではなく、入倉・三宅式等による評価を行い、重み付けすることを検討すること。	対象外 （他プラントへの個別指摘事項）

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
154	平成26年9月19日	地盤特性を考慮し荒浜側と大湊側で区別して地震ハザード評価を行うことについて、本文に説明を追加すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
155	平成26年9月19日	ロジックツリーにおける宮城県沖のプレート間地震の地震動評価について、特定震源モデルと領域震源モデルの区別を明確にすること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
156	平成26年9月19日	フラクタイル地震ハザード曲線について、周期を追記すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
157	平成26年9月19日	周期毎の地震ハザード曲線を示すこと。	「島根原子力発電所 2号炉確率論的リスク評価（P R A）について」 第1.2.1.b-12図 参照
158	平成26年9月19日	地震ハザード曲線におけるその他活断層による地震の部分について、断層毎の年超過確率への寄与を示すこと。	「島根原子力発電所 2号炉確率論的リスク評価（P R A）について」 第1.2.1.b-9図 参照
159	平成26年9月19日	ロジックツリーにおける分岐毎の重み付けの根拠を説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
160	平成26年9月19日	引用文献のリストを追加すること。	「島根原子力発電所 2号炉確率論的リスク評価（P R A）について」 本文p.1.2.1-37 参考文献 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：PRA）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
161	平成26年9月19日	フラジリティ評価方法について、Zion法に基づく方法を採用した理由を説明すること。	「島根原子力発電所 2号炉確率論的リスク評価（PRA）について」 本文1.2.1.c-3② 参照
162	平成26年9月19日	「確定論」との用語について、「決定論」とすること。	対象外 （他プラントへの個別指摘事項）
163	平成26年9月19日	フラジリティ評価における評価対象部位の選定理由と損傷状態の想定のかえ方について説明すること。	「島根原子力発電所 2号炉確率論的リスク評価（PRA）について」 本文1.2.1.c-3① 参照
164	平成26年9月19日	フラジリティ評価で参照している既往の電気品の試験結果を具体的に説明すること。	対象外 （他プラントへの個別指摘事項）
165	平成26年9月19日	フラジリティ評価で参照している文献について、明確に示すこと。	対象外 （他プラントへの個別指摘事項）
166	平成26年9月22日	E-LOCAの対象となる配管について選定手法を含む評価の内容について説明すること。	「島根原子力発電所 2号炉確率論的リスク評価（PRA）について」 補足説明資料1.2.1.d-1 参照
167	平成26年9月22日	加速度に対する炉心損傷頻度及び条件付炉心損傷確率のグラフの「年超過確率」パラメータを見直すこと。	対象外 （他プラントへの個別指摘事項）

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
168	平成26年9月22日	加速度に対する炉心損傷頻度及び条件付炉心損傷確率のグラフを追記すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
169	平成26年9月22日	炉心損傷頻度が大きくなる理由を説明すること。	「島根原子力発電所 2号炉確率論的リスク評価（P R A）について」 本文1.2.1.d⑥ (2) 参照
170	平成26年9月22日	人的過誤確率について説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
171	平成26年9月22日	地震 P R A 階層イベントツリーの起因事象の取扱いについて考え方を定量的に説明すること。	「島根原子力発電所 2号炉確率論的リスク評価（P R A）について」 補足説明資料1.2.1.d-2 参照
172	平成26年9月22日	感度解析の使命時間の考え方を説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
173	平成26年9月22日	地震 P R A で用いた解析コードの妥当性について説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
174	平成26年9月22日	内閣府にて発表した日本海側の津波評価結果を反映させること。	「島根原子力発電所 2号炉確率論的リスク評価（P R A）について」 補足説明資料1.2.2.b-1 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
175	平成26年9月22日	波源別の寄与度を説明すること。	「島根原子力発電所 2号炉確率論的リスク評価（P R A）について」 補足説明資料1.2.2.b-1 参照
176	平成26年9月22日	活断層や領域震源等評価に用いた地震の選定理由を説明すること。	対象外 （他プラントへの個別指摘事項）
177	平成26年9月22日	防波堤及び取水口に津波及び引き波が衝突する可能性及びその健全性について定量的に説明すること。	「島根原子力発電所 2号炉確率論的リスク評価（P R A）について」 補足説明資料1.2.2.a-2 参照
178	平成26年9月22日	津波到達時間までに船舶等が退避可能とした成立性について説明すること。	対象外 （他プラントへの個別指摘事項）
179	平成26年9月22日	流向ベクトルについて漂流範囲を明確にすること。	「島根原子力発電所 2号炉確率論的リスク評価（P R A）について」 補足説明資料1.2.2.a-2 参照
180	平成26年9月22日	震災による海底沈降物の取扱いについて検討すること。	対象外 （他プラントへの個別指摘事項）
181	平成26年9月22日	浸水経路を網羅的に考慮して浸水評価すること。	「島根原子力発電所 2号炉確率論的リスク評価（P R A）について」 補足説明資料1.2.2.a-1 参照

島根原子力発電所 2 号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
182	平成26年9月22日	防波堤耐力について引き波の評価が包括されていることを説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
183	平成26年9月24日	津波 P R A のイベントツリーを津波の高さ毎に整理すること。	「島根原子力発電所 2 号炉確率論的リスク評価 (P R A) について」 本文1.2.2.d③ 参照
184	平成26年9月25日	T B、T B W の関係を説明すること。	H27.5.26. 「EP-003_改07_確率論的リスク評価 (P R A) について」別紙1.1.1-15 参照
185	平成26年9月26日	引き津波による炉心損傷頻度の事故シナリオ毎の内訳を示すこと。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
186	平成26年9月26日	水密扉の開閉操作を行う頻度の根拠を示すこと。	「島根原子力発電所 2 号炉確率論的リスク評価 (P R A) について」 補足説明資料1.2.2.d-1 参照
187	平成26年9月26日	水密扉の開閉状態確認や閉操作など、津波警報が出た際の対応について示すこと。	「島根原子力発電所 2 号炉確率論的リスク評価 (P R A) について」 補足説明資料1.2.2.d-1 参照
188	平成26年9月26日	防潮堤を越える津波の際の浸水経路、機器損傷、事象推移の詳細な分析結果を示すこと。	「島根原子力発電所 2 号炉確率論的リスク評価 (P R A) について」 補足説明資料1.2.2.a-1 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
189	平成26年9月26日	浸水进行评估の際の前提条件を示すこと。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
190	平成26年9月29日	起因事象の選定において、反応度誤投入を除外する考え方を説明すること。	H26.10.2. 「第144回審査会合 資料2-2」本文3.1.1.1 参照
191	平成26年9月29日	事故シーケンスの分類について、網羅的に抽出されていることを説明すること。	H26.10.2. 「第144回審査会合資料2-2」本文3.2,第3-1表, 第3-2表, 第3-3図 参照
192	平成26年9月29日	全燃料取出期間（停止時評価対象外）にCRD点検及びLPRM点検を実施する旨を注記すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
193	平成26年9月29日	原子炉冷却材流出時とそれ以外の事象の場合での崩壊熱除去手段の考え方について説明すること。	H26.10.2. 「第144回審査会合 資料2-2」本文3.1.1第3-3図 参照
194	平成26年9月29日	ATWSについて、格納容器に期待しない理由を説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
195	平成26年9月29日	津波時にSRV再閉失敗を考慮する理由について説明すること。	H28.6.28. 「EP-012改03_島根2号炉 事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス等の選定について」第1-6図 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
196	平成27年4月23日	人的過誤の診断失敗の評価における時間の依存性（短時間診断と長時間診断の従属関係など）に対する考え方を説明すること。	対象外 （他プラントへの個別指摘事項）
197	平成27年4月23日	常用系の故障率の算出方法（試験間隔、切替時間など）を整理して、説明すること。	対象外 （他プラントへの個別指摘事項）
198	平成27年4月23日	常用系及び非常用系の機器の試験間隔の考え方（運転中、停止中）を説明すること。	対象外 （他プラントへの個別指摘事項）
199	平成27年4月23日	フォルトツリー（FT）の展開において、格納容器内の弁外部リークをモデル化していない理由を説明すること。	対象外 （他プラントへの個別指摘事項）
200	平成27年4月23日	フォルトツリー（FT）の展開において、モデル化しない1/4未満配管の範囲を説明すること。	対象外 （他プラントへの個別指摘事項）
201	平成27年4月23日	システム内の共通要因故障（CCF）を同定する手法の妥当性について、複雑な系統であるRHR（注水/除熱）系を例に説明すること。	対象外 （他プラントへの個別指摘事項）
202	平成27年4月23日	逆止弁の内部リークの取扱いの妥当性について、複雑な系統であるRHR（注水/除熱）系を例に説明すること。	対象外 （他プラントへの個別指摘事項）

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：PRA）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
203	平成27年4月24日	外部電源喪失時の崩壊熱除去失敗（TBW）シーケンスにおける高圧炉心スプレイ系（HPCS）の機能維持についてモデル化の考え方を整理すること。	H27.7.12. 「第379回審査会合資料3-3-3」別紙1.1.1-20 参照
204	平成27年4月24日	人的過誤確率の算出モデルについてタスク分析を踏まえた妥当性を説明すること。	H27.7.12. 「第379回審査会合資料3-3-3」別紙1.1.1-31 参照
205	平成27年4月24日	原子炉補機冷却系（RCW）の常時運転状態から起因事象発生時のフォールトツリーのモデルについて説明すること。	H27.7.12. 「第379回審査会合資料3-3-3」別紙1.1.1-10 参照
206	平成27年4月24日	共通原因故障対象機器の選定について、最新の知見を踏まえ説明すること。	H27.7.12. 「第379回審査会合資料3-3-3」別紙1.1.1-27,28 参照
207	平成27年4月24日	炉心損傷頻度解析ツール（計算式、条件等）について示すこと。	H27.7.12. 「第379回審査会合資料3-3-3」別紙1.1.1-32 参照
208	平成27年4月24日	地震機器リストと内的事象の機器との対応を説明すること。	「島根原子力発電所 2号炉確率論的リスク評価（PRA）について」本文1.2.1.a, 第1.1.1e-3表 参照
209	平成27年4月24日	フォールトツリーにおける入力データと故障率の対応等を踏まえ、解析に使用するデータの整理に関する考え方を示すこと。	H27.7.12 「第379回審査会合資料3-3-3」本文1.1.1-f 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
210	平成27年4月30日	高圧炉心スプレイ系のディーゼル発電機（D G）について、非常用D G 2台との共通原因故障の考慮の有無を説明すること。	対象外 （他プラントへの個別指摘事項）
211	平成27年4月30日	フォールトツリーについて、機器の展開レベル、故障モード、機器バウンダリ、フォールトツリー作成上の仮定、フォールトツリーの基本構造等、モデル化上の基本的な考え方について説明すること。	対象外 （他プラントへの個別指摘事項）
212	平成27年4月30日	低圧注水系など起動するときの条件の違いが、フォールトツリーでどのように考慮されているか説明すること。	対象外 （他プラントへの個別指摘事項）
213	平成27年4月30日	低圧注水系等を例として、MGL法を使った感度解析のフォールトツリー展開例を説明すること。	対象外 （他プラントへの個別指摘事項）
214	平成27年4月30日	弁等について故障確率の設定の考え方について説明すること。	対象外 （他プラントへの個別指摘事項）
215	平成27年4月30日	機器の操作過誤をどのようにフォールトツリーにモデル化しているか、T H E R P手法の適用の考え方も含めて説明すること。	対象外 （他プラントへの個別指摘事項）
216	平成27年5月11日	フォールトツリーの作成において、充電器の故障範囲をどのように設定しているのか説明すること。	対象外 （他プラントへの個別指摘事項）

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
217	平成27年5月11日	フォールトツリーのシステムモデルを作成するにあたり、NUCIAで定義されている機器バウンダリーモデルとの整合性をどのように確保しているのか、代表的な設備を例示して説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
218	平成27年5月14日	停止時フォールトツリー及び運転時フォールトツリーの相違点を定期検査工程内で行う作業や検知可能なパラメータ等の条件と関連づけて説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
219	平成27年5月14日	起因事象発生前人的過誤確率の算定条件について、運転時との相違を整理し説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
220	平成27年5月14日	外部電源喪失時イベントツリーにおける分岐「交流電源起動」と分岐「交流電源継続運転」の考え方を相違含めて整理し説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
221	平成27年5月29日	レベル1.5 P R Aにおいて、物理化学現象の分岐確率が、最新知見を考慮した上で算出されていることを説明すること。	H28.7.5. 「EP-003_改10_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙2.1.1-7 参照
222	平成27年5月29日	原子炉圧力容器高圧破損時のペDESTAL内流動解析において、ドライウェルへの移行粒子の評価等を再確認し説明すること。	H28.7.5. 「EP-003_改10_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙2.1.1-7 参照
223	平成27年5月29日	レベル1 P R AのTWシーケンスで崩壊熱除去熱操作に対する余裕時間を変更しているが、この変更によるレベル1.5 P R Aの格納容器イベントツリーへの影響について説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
224	平成27年5月29日	I V R評価コードについて、M A A Pの評価結果を参照することを検討すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
225	平成27年6月3日	主蒸気隔離弁の共通要因故障を考慮した上で、主蒸気隔離弁の隔離失敗確率の計算プロセスを整理して説明すること。	H27.7.2. 「第245回審査会合資料1-3-1」 100ページ 参照
226	平成27年6月3日	主蒸気管破断の発生頻度の計算プロセスを再度整理して説明すること。	H27.7.2. 「第245回審査会合資料1-3-1」 100ページ 参照
227	平成27年6月3日	R H R - A, B系統とL P C I - A, B, C系統のカットセットを示し、R H RとL P C Iにおける主要な共通要因故障について整理して説明すること。	H27.7.2. 「第245回審査会合資料1-3-1」 100ページ 参照
228	平成27年6月3日	起因事象発生前の手動弁の開け忘れ、閉め忘れを考慮した感度解析で用いた人的過誤確率を説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
229	平成27年6月3日	人的過誤のスクリーニングにおいて、手動弁の開け忘れ、閉め忘れ等を原子炉起動前の構成管理で除外できるとする理由を整理して説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
230	平成27年6月15日	M C C I（溶融炉心・コンクリート相互作用）の事前注水無しの場合について、R C C V（鉄筋コンクリート製原子炉格納容器）の破損頻度の評価値が低くなっていることを説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：PRA）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
231	平成27年6月16日	逃がし安全弁開固着後の給水系失敗を起因事象としない理由を説明すること。	H27.7.14. 「第249回審査会合資料2-1-1」 40ページ 参照
232	平成27年7月3日	全交流電源喪失のシーケンス選定において福島第一原子力発電所事故がどう扱われているか説明すること。	H27.7.14. 「第249回審査会合資料2-1-1」 28ページ, 「第249回審査会合資料2-1-2」 別紙5 参照
233	平成28年7月5日	NUREG-1792の位置づけを明確にし、人的過誤の除外規定について説明すること。	「島根原子力発電所 2号炉確率論的リスク評価（PRA）について」 補足説明資料1.1.1.g-2 参照
234	平成26年3月13日	外部電源喪失 + 高圧冷却失敗を全交流電源喪失とすることを含め、シーケンスグループの分類の考え方を示すこと。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」 本文1.1.1.h①(1) 参照
235	平成26年3月13日	津波PRAで考慮する設備の選定の考え方を説明すること。	「島根原子力発電所 2号炉確率論的リスク評価（PRA）について」 本文1.2.2.a② 参照
236	平成26年3月13日	津波による浸水水位解析等、詳細な解析はしないのか。	「島根原子力発電所 2号炉確率論的リスク評価（PRA）について」 補足説明資料1.2.2.a-1 参照
237	平成26年3月13日	炉外FCIについて、ペDESTAL内に水が存在している想定を考え方を説明すること。	H27.5.26. 「EP-003_改07_確率論的リスク評価（PRA）について」 別紙2.1.1-6 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
238	平成26年3月13日	M C C I の浸食が P C V に達しないことを説明すること。	H27.5.26. 「EP-003_改07_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙2.1.1-6 参照
239	平成26年3月13日	プラント損傷状態の分類において、炉心損傷状態を高圧と低圧に分ける基準の考え方を説明すること。	H27.5.26. 「EP-003_改07_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙2.1.1-1 参照
240	平成26年3月13日	格納容器イベントツリーのヘディングの分岐確率の定量化に関して、I V R を含む物理化学現象を詳細に説明すること。	H27.6.30. 「第244回審査会合資料3-4-1」78ページ 参照
241	平成26年3月13日	格納容器破損モードの分類について適切に説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」本文2.1.1.c, 第2.1.1-4図 参照
242	平成26年3月13日	停止時 P R A で、反応度の誤投入を事故シーケンスグループとして考慮しないとする理由を整理して説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」別紙1.1.2-3 参照
243	平成26年3月13日	停止時 P R A のプラント状態の代表性を説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」第1.1.2-5表, 第1.1.2-9図, 別紙1.1.2-1 参照
244	平成26年3月13日	停止時 P R A で、S F P の評価をするか検討すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」別紙1.1.2-8 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
245	平成26年3月20日	P R A実施に当たって収集した情報に関して引用文献を明確に示すこと。	H27.5.26. 「EP-003_改07_確率論的リスク評価（P R A）について」第1.1.1-1表 参照
246	平成26年3月20日	高圧、低圧注入系統を詳細に図示すること。	H27.5.26. 「EP-003_改07_確率論的リスク評価（P R A）について」第1.1.1-4～7図 参照
247	平成26年3月20日	P R A実施範囲について詳細に説明すること。	H27.5.26. 「EP-003_改07_確率論的リスク評価（P R A）について」の「はじめに」, 第1.1.1-2表 参照
248	平成26年3月20日	P R Aにおいて影響緩和のために期待する設備等の前提条件を整理して示すこと。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」第1.1.1-2表, 第1.1.1-3表 参照
249	平成26年3月20日	浜岡や同型のプラントのトラブル事例のレビュー結果を詳細に説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」1.1.1.b①(1) 参照
250	平成26年3月20日	外部電源喪失について、P W Rでの件数は考慮せずにB W Rのみを考慮している理由を説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」別紙1.1.1-2 参照
251	平成26年3月20日	起因事象のグルーピングの考え方や各事象のプラント状態を整理すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」第1.1.1-5,6,7表 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
252	平成26年3月20日	起因事象の発生頻度の評価の基本的な考え方や数値根拠を説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」本文1.1.1.b①(4)（ISLOCAは別紙1.1.1-5） 参照
253	平成26年3月20日	起因事象から対象外とする理由について、詳細に説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」本文1.1.1b①(2) 参照
254	平成26年3月20日	制御棒落下を1本とする理由など。	H27.5.26. 「EP-003_改07_確率論的リスク評価（P R A）について」本文1.1.1.b①(2)c 参照
255	平成26年3月20日	M S I V部分閉鎖の起因事象の分類の考え方を詳細に説明すること。	H27.5.26. 「EP-003_改7_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙1.1.1-1 参照
256	平成26年3月20日	I S L O C A 低圧系の記載部分に付加とあるが、適切な言葉になっているか確認すること。	対象外 （他プラントへの個別指摘事項）
257	平成26年3月25日	成功基準の設定時の考え方について解析結果及び条件を提示すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」別紙1.1.1-8,9,10 参照
258	平成26年3月25日	成功基準の設定において余裕時間や手動操作の考え方を説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」別紙1.1.1-8 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：PRA）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
259	平成26年3月25日	炉心損傷と余裕時間の関係を定量的に示すこと。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」本文1.1.1.c① 参照
260	平成26年3月25日	成功基準を示している表中の常用系と耐震Cの使い分けの考え方を整理すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
261	平成26年3月25日	感度解析において給水系を期待しない場合の評価結果を示すこと。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
262	平成26年3月25日	S R Vの非信頼度及び失敗台数について考え方を示すこと。	H27.5.26. 「EP-003_改07_確率論的リスク評価（PRA）について」本文1.1.1.e④(1) 参照
263	平成26年3月25日	平均修復時間について、D/Gのデータは、最新のデータがあるか確認すること。	H27.5.26. 「EP-003_改07_確率論的リスク評価（PRA）について」別紙1.1.1-26 参照
264	平成26年3月25日	共通原因故障の発生確率評価について、PRAでの使用実績がある文献や既往のPRA研究等から、妥当と考えられるパラメータを使用することについて具体的に説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」別紙1.1.1-25 参照
265	平成26年3月25日	γ ファクタなどのデータの引用の考え方を説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」本文1.1.1-16表 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
266	平成26年3月25日	故障率を代用するデータの選定の考え方について説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」別紙1.1.1-15 参照
267	平成26年3月25日	故障率を代用する機器との構造の類似性について、想定される故障モードを踏まえて詳細に説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」別紙1.1.1-15 参照
268	平成26年3月25日	共通原因故障機器群から除外する考え方を詳細に説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」別紙1.1.1-15 参照
269	平成26年3月25日	βファクタ法の適用の考え方を説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
270	平成26年3月25日	βファクタについて、故障モードで分けているかどうか説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」別紙1.1.1-20 参照
271	平成26年3月25日	RHRの共通原因故障を考慮していない理由を説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
272	平成26年3月25日	操作失敗について詳細に例示すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」第1.1.1-15図 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
273	平成26年3月25日	THERP手法について、1500分を超える評価がないことを示すこと。	H27.5.26. 「EP-003_改07_確率論的リスク評価（P R A）について」本文 1.1.1.g①(2) 参照
274	平成26年7月25日	従属性を有する起因事象の抽出について詳細に説明すること。	H26.6.30. 「第244回審査会合資料3-4-1」113ページ 参照
275	平成26年7月25日	常用系と非常用系で共用しているサポート系の設備に関して、常用系の喪失に起因する非常用系の喪失を別個の起因事象として考える必要がないか説明すること。	H26.6.30. 「第244回審査会合資料3-4-1」113ページ 参照
276	平成26年7月25日	D B A超過 L O C Aについては、起因事象としての取扱いを説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」別紙1.1.1-3 参照
277	平成26年7月25日	安全機能のサポート機能のうち、復水器真空度維持に関するサポート系について説明すること。	H27.5.26. 「EP-003_改07_確率論的リスク評価（P R A）について」本文 1.1.1.a①(1)a (e) 1) 参照
278	平成26年7月28日	起因事象の発生頻度についてエラーファクタの設定の妥当性を説明すること。	H27.5.26. 「EP-003_改07_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙1.1.1-3 参照
279	平成26年7月28日	S A F E Rコードによる解析条件について、許可条件と異なる部分を説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」別紙1.1.1-9 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：PRA）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
280	平成26年7月28日	S A F E RとM A A Pの違いを踏まえ、余裕時間の解析について説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
281	平成26年7月28日	事故シーケンスのうちT B（電源喪失）シーケンスとT W（崩壊熱除去）シーケンスの取扱いについて、感度解析の実施も含めて検討して説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」別紙1.1.1-12 参照
282	平成26年7月28日	ポンプ室空調がサポート系に含まれない理由を説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
283	平成26年7月28日	中性子検出器の故障のモデル化について説明すること。	H27.5.26. 「EP-003_改07_確率論的リスク評価（PRA）について」別紙1.1.1-17 参照
284	平成26年7月28日	R C C WやR C W S等、共通原因故障を考慮しない設備について、その妥当性を説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
285	平成26年7月28日	共通原因故障を考慮した場合の感度解析を実施すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
286	平成26年7月28日	βファクタ法としているが、MGL法と異なるか確認すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
287	平成26年7月30日	起因事象発生前の人的過誤を除外することの妥当性について詳細に説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」別紙1.1.1-22 参照
288	平成26年7月30日	計器の校正ミスの取り扱いについて考え方を詳細に説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」別紙1.1.1-22 参照
289	平成26年7月30日	オMISSIONエラーを考慮していない理由について説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
290	平成26年7月30日	操作手順をどのようにH R A ツリーに展開しているか妥当性を説明すること。	H27.5.26. 「EP-003_改07_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙1.1.1-29 参照
291	平成26年7月30日	ストレスレベルの考え方について詳細に説明すること。	H27.6.30. 「第244回審査会合資料3-4-1」24ページ 参照
292	平成26年7月30日	R H R 関連操作失敗の用語を資料の中で統一すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
293	平成26年8月8日	全交流電源喪失の定義を明確に説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」本文1.1.1.d①(2) 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
294	平成26年8月8日	T WシーケンスとT B Wシーケンスの取り扱いについて、緩和操作の類似性等を踏まえて理由を説明すること。	H26.7.16. 「第244回審査会合資料3-4-1」 67ページ 参照
295	平成26年8月8日	格納容器先行破損及び炉心損傷先行の2つのT Wを同一のプラント損傷状態と定義した理由について説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
296	平成26年8月8日	溶融燃料を原子炉内に保持することが可能と判断する考え方を、最新の知見を踏まえ説明すること。	H27.6.30. 「第244回審査会合資料3-4-1」 40ページ 参照
297	平成26年8月8日	事故進展解析結果についての考察を詳細に説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
298	平成26年8月8日	福島第一原子力発電所の知見も踏まえ、格納容器の過温破損の判定条件について考え方を整理すること。	H27.6.30. 「第244回審査会合資料3-4-1」 85ページ 参照
299	平成26年8月8日	シェルアタックを考慮しない考え方を説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」 別紙2.1.1-2 参照
300	平成26年8月8日	事故進展解析において、炉心損傷、炉心溶融、炉心支持板破損、M C C I による格納容器破損を判断するための具体的な判断基準を説明すること。	H27.5.26. 「EP-003_改07_確率論的リスク評価（P R A）について」 別紙2.1.1-4 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
301	平成26年8月8日	粗混合量等のプロセスを考慮したことによる F C I の分岐確率評価法について説明すること。	H27.5.26. 「EP-003_改07_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙2.1.1-6 参照
302	平成26年8月8日	格納容器フラジリティ等の設定を定量的かつ詳細に説明すること。	H27.5.26. 「EP-003_改07_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙2.1.1-6 参照
303	平成26年8月8日	D C Hの不確かさ解析について解析結果を再度確認すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
304	平成26年8月8日	P C V破損頻度の評価に伴う考察について各原子炉の特徴を踏まえ詳細に説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」2.1.1.f 参照
305	平成26年8月8日	D C Hにおける格納容器フラジリティについて、温度との関係を説明すること。	H27.5.26. 「EP-003_改07_確率論的リスク評価（P R A）について」別紙2.1.1-6 参照
306	平成26年8月8日	イベントツリーの最終状態について詳細に説明すること。	H27.5.26. 「EP-003_改07_確率論的リスク評価（P R A）について」別添2.1.1-1 (L1.5イベントツリー集) P.1 参照
307	平成26年8月19日	定期検査の代表工程の選定の考え方を詳細に説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」別紙1.1.2-1 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
308	平成26年8月19日	プラント状態の分類の考え方を詳細に説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」本文1.1.2.a③ 参照
309	平成26年8月19日	代表工程として選定された定期検査において実施された特別な工程等について説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」本文1.1.2.a③ 参照
310	平成26年8月19日	タイラインによるサポート系の融通について許認可上の位置付けを整理して説明すること。	H27.6.30. 「第244回審査会合資料3-4-1」118ページ 参照
311	平成26年8月19日	P O S 毎にタイラインをどのように評価しているか説明すること。	H27.6.30. 「第244回審査会合資料3-4-1」118ページ 参照
312	平成26年8月19日	R H R 運転中の L O C A の発生確率の算出過程を詳細に説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」別紙1.1.2-4 参照
313	平成26年8月19日	R H R 切替時の L O C A を P O S - B 4 のみで考慮している理由について説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」1.1.2-9工程図 参照
314	平成26年8月19日	システム信頼性解析の結果について詳細に説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」第1.1.2-14表 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
315	平成26年8月19日	崩壊熱除去と格納容器除熱の定義を説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
316	平成26年8月19日	外部電源喪失のイベントツリーの展開について説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」 1.1.2.d①(2) 参照
317	平成26年8月19日	事故シーケンスグループ別の炉心損傷頻度について、詳細な分析を行い説明すること。また必要に応じて感度解析結果を示すこと。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」 本文1.1.2.h②③, 第1.1.2-17, 24, 25表 参照
318	平成26年8月19日	P R Aにおいて期待する緩和設備について選定の考え方を詳細に説明すること。	H27.5.26. 「EP-003_改07_確率論的リスク評価（P R A）について」 別紙1.1.2-1 参照
319	平成26年8月19日	緩和操作の成功に必要な安全機能、当該操作時のプラント状態について説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」 第1.1.2-9表 参照
320	平成26年8月19日	緩和操作に必要な余裕時間等の算定根拠を説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」 本文1.1.2.c①(2), 第1.1.2-11表, 別紙1.1.2-9 参照
321	平成26年8月19日	人的過誤に係る診断失敗確率の考え方について説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」 本文1.1.2.g④(2), 別紙1.1.2-10 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
322	平成26年8月19日	人的過誤に係るストレスファクタの設定の考え方を説明すること。	H27.6.30. 「第244回審査会合資料3-4-1」 24ページ 参照
323	平成26年8月19日	起因事象発生前の操作に係る人的過誤について、選定の考え方を説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」 本文1.1.2g①(1) 参照
324	平成26年8月19日	人的過誤確率の算出にあたり、考慮した工学的判断について詳細に説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」 別紙1.1.2-9, 別紙1.1.2-10 参照
325	平成26年9月9日	イベントツリーにおいて、常用系と非常用系で共用しているサポート系の取り扱いに関し、常用系喪失時に隔離弁故障による常用系の隔離失敗を想定していない理由について説明すること。	H27.6.30. 「第244回審査会合資料3-4-1」 113ページ 参照
326	平成26年9月9日	過誤確率の計算過程、特に余裕時間とその間の警報の扱いを説明すること。	H27.5.26. 「EP-003_改07_確率論的リスク評価（P R A）について」 別紙1.1.1-28 参照
327	平成26年9月9日	I V Rを考慮しない場合の感度解析結果について説明すること。	H26.7.22. 「第125回審査会合資料1-2」 2.1.1.g 参照
328	平成26年9月16日	F C I 粗混合量の評価における破断面面積の扱いを説明すること。	H27.5.26. 「EP-003_改07_確率論的リスク評価（P R A）について」 別紙2.1.1-6 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
329	平成26年9月16日	A、B系のタイライン運用する際の系統間の独立性について整理し説明すること。	H27.6.30. 「第244回審査会合資料3-4-1」 118ページ 参照
330	平成26年9月22日	船舶の衝突及び引き波の水位低下に伴う影響の評価については、余裕時間も考慮して評価することを検討すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
331	平成26年9月22日	防波壁は耐力を有するため、設備の機能喪失確率は無視できるほど小さいと評価した根拠について詳細に説明すること。	「島根原子力発電所 2号炉確率論的リスク評価（P R A）について」 補足説明資料1.2.2.a-3 参照
332	平成26年9月22日	津波の衝撃による影響が静的高さの1.5倍に包括することが可能とした根拠を説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
333	平成26年9月22日	越波後に喪失する設備について説明すること。	「島根原子力発電所 2号炉確率論的リスク評価（P R A）について」 本文1.2.2.d⑥(2) 参照
334	平成26年9月22日	越波時に機能喪失が想定される機器を整理し、事故シーケンスを示すこと。	「島根原子力発電所 2号炉確率論的リスク評価（P R A）について」 本文1.2.2.d⑥(2) 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
335	平成26年9月22日	「水密扉からの浸水」を「開口部からの浸水」に表現を見直すこと。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
336	平成26年9月22日	「運転中、停止時で結果に影響がない」について詳細に記載すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
337	平成26年9月22日	現時点において実施しているウォークダウンの状況について説明すること。	「島根原子力発電所 2号炉確率論的リスク評価（P R A）について」 本文1.2.2.a①(4) 参照
338	平成26年9月22日	敷地浸水量は少なく設備に十分な耐力があると評価した根拠を説明すること。	「島根原子力発電所 2号炉確率論的リスク評価（P R A）について」 補足説明資料1.2.2.a-1 参照
339	平成26年9月22日	南海トラフのプレート間地震による津波のロジックツリーの重み付けについて考え方を説明すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)
340	平成26年9月22日	領域及びサイトの位置を記載すること。	対象外 (他プラントへの個別指摘事項)

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：PRA）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
341	平成26年9月22日	建屋・構築物及びフラジリティ検討の結果について網羅的に記載を充実させること。	「島根原子力発電所 2号炉確率論的リスク評価（PRA）について」本文1.2.2.c 参照
342	平成31年3月18日	基準津波及び津波ハザードの見直しに伴う津波PRAの評価結果への影響について具体的に示すこと。	H31.4.3 「EP-015改24(説)_確率論的リスク評価（PRA）について 津波レベル1 PRA」19～21ページ 参照
343	平成31年3月18日	敷地内浸水解析及びその解析結果を用いる妥当性について説明すること。	H31.4.3 「EP-015改24(説)_確率論的リスク評価（PRA）について 津波レベル1 PRA」10ページ、「EP-015改24_確率論的リスク評価（PRA）について（まとめ資料）」補足説明資料1.2.2.a-1 参照
344	平成31年3月18日	津波PRAの入力として水位下降側の津波ハザード曲線を使用しているのであれば、水位上昇側のものと合わせて示すこと。また、記載している津波ハザード曲線について、防波壁の考慮の有無についても記載すること。	H31.4.3 「EP-015改24(説)_確率論的リスク評価（PRA）について 津波レベル1 PRA」8, 15ページ、「EP-015改24_確率論的リスク評価（PRA）について（まとめ資料）」補足説明資料1.2.2.b-1 参照
345	平成31年3月18日	津波ハザード評価について、評価対象波源を変更した理由を記載すること。また、海域活断層の波源の選定及びパラメータの設定について、地震・津波側での審査を踏まえ、記載を適正化すること。	H31.4.3 「EP-015改24(説)_確率論的リスク評価（PRA）について 津波レベル1 PRA」16～18ページ 参照
346	平成31年3月18日	津波ハザードの見直しについて、全水位に対して上回るとした記載を見直すこと。	H31.4.3 「EP-015改24(説)_確率論的リスク評価（PRA）について 津波レベル1 PRA」15ページ 参照

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（有効性評価：P R A）

No.	年月日	コメント内容	回答状況
347	平成31年3月18日	敷地内浸水解析について、保守的に防波壁の通路の扉を開として解析している考え方を整理して提示すること。	H31.4.3 「EP-015改24(説)_確率論的リスク評価（P R A）について 津波レベル1 P R A」10ページ、「EP-015改24_確率論的リスク評価（P R A）について（まとめ資料）」補足説明資料1.2.2.a-1 参照
348	平成31年3月18日	起因事象の発生頻度について、実績から評価したものと故障率等から評価したものを区別して記載すること。	H31.4.3 「EP-015改24(説)_確率論的リスク評価（P R A）について 内部事象 P R A」4ページ、「EP-015改24_確率論的リスク評価（P R A）について（まとめ資料）」第1.1.1.b-5表 参照
349	平成31年3月18日	地震・津波側の審査と回答の記載が異なっているものについて、内容が変化していないのであれば、回答の記載を合わせること。	H31.4.3 「EP-015改24(説)_確率論的リスク評価（P R A）について 津波レベル1 P R A」参照
350	平成31年4月3日	人的過誤の除外理由の記載等について、先行プラントでは、審査会合での議論等を踏まえ、記載の拡充が図られているが、これらについて、島根2号炉の資料を作成する上でどのように考慮したのか説明すること。	H31.4.9 「第701回審査会合 資料1-2-5 確率論的リスク評価（P R A）について」補足説明資料1.1.1.g-2 参照
351	平成31年4月3日	人的過誤の除外の考え方等までマスキングしているが、マスキング対象の考え方について整理して説明すること。	H31.4.9 「第701回審査会合 資料1-2-5 確率論的リスク評価（P R A）について」補足説明資料1.1.1.g-2 参照
352	平成31年4月3日	人的過誤の抽出検討例、除外理由がそれぞれ別の表として整理されているが、当該表に対応する本文の記載と整合していない部分があり、また、記載内容が重なっている部分もあることから、資料構成を整理すること。	H31.4.9 「第701回審査会合 資料1-2-5 確率論的リスク評価（P R A）について」補足説明資料1.1.1.g-2 参照